

40

- **実績〈嵐の避難所〉がある**:45節へ進む。
- **さもなくば**:現在地たる〈トゥアハン〉に隣接させて**場所180番**〈オーリンの決断〉を結合させ、パーティを〈オーリンの決断〉に強制移動。探索終了。

43

妖鋼板の上に、ネコがシャーッと唸って物質化した。すぐさま君の腕の中に飛びこみ、今度はのどを鳴らした。

支援〈**獐猛な山猫**〉獲得。誰かが既にそのカードを所有していたら、かわりに**2食料**獲得。クエスト・トークン1個獲得。探索終了。

45

周囲にある尖った妖石やオレンジ色の岩が、どこか懐かしかった。以前ここにいたように思える。周囲を調べると、君自身の痕跡を見つけた。ここはオーリンの隠れ家を見つけた場所だと分かり、鼓動が早まる。あやかしの地で小休止を取れないかと思い、隠れ家を探すことにした。

しばらくのち、かつてそれが建っていた場所を見つけた。地面には穴があいていた。ちょうど建物の土台を支えていた柱があったあたりだ。どうやら建物は移動してしまったらしい。行き場のない怒りと失望で、うなり声をあげた。

- **秘密3番がある**:50節へ進む。
- **さもなくば**:ランダムに〈トゥアハン〉の場所を1枚めくり、それを現在地たる〈トゥアハン〉に隣接させて結合し、パーティをその新たな〈トゥアハン〉に強制移動。探索終了。

47

妖鋼板の上に。突然、多数のパンの塊が物質化した。すべて固くなっているが、まだ食べられる。

4食料&クエスト・トークン1個獲得。探索終了。

50

そこで、鞆のなかに入れていた先住者の仮面のことを思い出した。本能の赴くままに、取り出して装着してみる。最初、何も変わったようすはなかった。仮面を通して見た景色は、前と同じだった。だがそこで、不思議な感覚に襲われる。まるで違う場所から見ているような気分になる。自分の頭より、もっと高いところからあやかしを、霧としてではなく真の姿を見ているようだった。複雑にもつれ合った無限の可能性。そこに手を伸ばし、建物を探す。運のいいことに、ここからさほど遠くない場所にあった。

現在地たる〈トゥアハン〉に隣接させて**場所180番**〈オーリンの決断〉を結合させ、パーティを〈オーリンの決断〉に強制移動。探索終了。

55

現在地たる〈トゥアハン〉に隣接させて**場所185番**〈トゥアハンの中心〉を結合させ、パーティを〈トゥアハンの中心〉に強制移動。各人**2経験**獲得。探索終了。

63

なにか光るものが空から落ちてきて、妖鋼板にぶつかった。

支援〈**魔剣**〉獲得(獲得できなければ、代わりに自作可能品ではない、キーワードが「**武器**」の支援を1枚獲得)。クエスト・トークン1個獲得。探索終了。

65

「自信過剰は、知らず知らずのうちにゆっくりと自分を殺すことになる」と忠告し、コスールに別れを告げた。コスールは助言と親切に感謝し、自分の助けを必要とする次の場所へと出発すると言った。その熱心さに、君も決意を新たにした。

各人**1名声**&**3経験**獲得、かつ全**除去**。探索終了。

66

下図の緑遭遇〈いにしえのセルキー〉を解決:

いにしえのセルキー 18

速攻、奇襲

0-5 >> 3
6-14 >> 2 除去
15-17 >> 3

臨機: 2 獲得

報酬: 各人 **2経験** 獲得
戦利品: **4魔力** 獲得

- **勝利**:クエスト・トークン1個獲得。

探索終了。

250

黒髪の女性は北へと向かった。あやかしの壁の開口部に立ち、畏怖を感じながらも巨像を見上げている。

各人1  獲得。163 節へ戻る。

253

赤いバンダナの石工が、前に出てきた。彼女は咳払いのあとで、群衆に向かって宣言した。「円卓は滅びた。本土を、そしてアヴァロンをも守ることのできなかった騎士道と呼ばれる作法は、もう死んだのだ」

歓声が工房に響いた。

「我々には新たな勇者がついている！」石工は続けた。「血筋や汚職ではなく、清く正しい善なる行動のみで名声を得た者だ！ この勇者たちは、円卓の騎士がなれなかった理想となるだろう！」

そして石工は君の前に膝をついた。都邑の他の指導者と民衆が、それに続いた。

実績〈全土の英雄〉&秘密 19 番獲得。各人5  経験&5  名声獲得。

○〈第7章・第1篇〉をプレイ中:490節へ進む。

○さもなくば:探索終了。

257

長い沈黙。貴婦人は聖杯を眺めながら、深い悲しみを堪えている。「これのせいである人が死んだのですね……わらわの愛する騎士。明けの明星のように純粋で輝ける人。わらわの指示によって亡くなった。まさしく運命は残酷です。ごめんなさい。しばらくひとりにさせてください」

貴婦人は波間に沈みはじめるが、その前に手の中にある聖杯について大声で訊ねた。

「お気になさらず。それはそなたの思うようなものではありませんから」突き放すような声と共に、突然その聖杯は悪臭漂う泥の塊になった。はめられていた宝石は単なる小石で、光り輝いていた表面は魚鱗である。

貴婦人は沈みつつ、さらに語った。「わらわがふたつ作ったのです。真の聖杯ひとつに対してふたつの贋作を。見てのとおり、偽物のひとつは遠くまで行けなかったようですね。しかし他のふたつは、まだ所有者と共にあるでしょう。誰かがわらわの記憶から情報を盗み取るといけませんから、行先は聞かなかったのですが、そなたの村の鍛冶屋は、はじまりの農砦に向かうと言っていました。砦の古い壁が、その身を守ってくれると信じていました……では、ごきげんよう」

言うなり消えてしまう。手の中にある土の塊を見つめた。だとすると真の聖杯を所有しているのはどちらで、どこへ向かったのだろうか？

秘密8番〈汚れた聖杯〉を除去する。

おめでとう！ クエストを達成しました。実績〈遠征隊の運命〉の断片7&実績〈貴婦人の依頼〉獲得。

○第3章_甲をプレイしていない:各人2  経験獲得。進行中のクエストを含む、すべての物語カードを捨て札にする。それから〈第3章_甲〉のセットアップ・カードを引いてその指示にしたがい、ゲーム再開！

○第3章_甲をプレイ中:〈第3章_甲・第4篇〉を解決:

探索終了。

263

フェールの住処の場所を訊ねると、漂白の地の住人は、しぶしぶ森の端の小さな家を教えてくれた。カラスの濡羽色の髪の中年女性が、バターをかき回しながら玄関で迎えてくれた。その手は労働のせいで赤くなっていたが、他の村人とは違って健康的に見えた。あらゆる所作に優雅さが宿り、口調も優しく宮廷風だった。フェールが亡くなったと伝えたと、涙がこぼれた。

「こんなことになるなんて……行く必要はなかったのです！ 責務など、何ひとつなかったというのに！」

しばらくすると落ち着きを取り戻し、先を続けた。

「すべて差しあげますわ。二度と目にしたくありません。私たちの来歴を思い起こさせますから」

そして戸棚の後ろにある扉まで導いた。そこから窓のない秘密の地下室へと足を踏み入れると、鋼の板金札の全身鎧、素晴らしき馬鎧、見覚えのある紋章入りの盾など、伝説の円卓の騎士の遺品があった。

長年知り合いであった寡黙な狩人フェールの正体は、ガラハドだったのだ。驚きで声が出ない。どうして誇り高き騎士の道を捨てたのだろうか？ この品々をどうするべきであろうか？

実績〈隠されし宝〉の断片2獲得。次から1つ選択:

○この女性に任せる:探索終了。

○漂白の地の村長に届ける:法に準拠するなら、騎士の持ち物は、その死の知らせとともにカマアロに返却する義務がある。そうするなら、勇敢なる若者が新たに受け継ぐであろう。308節へ進む。

○自らのものにする:法に準拠するなら、騎士の持ち物は、その死の知らせとともにカマアロに返却する義務がある。だがフェールはもう騎士ではないため、その必要などない。3  財貨、秘密5番、実績〈騎士道の終焉〉の断片1獲得。探索終了。

264

辛い作業が終わった。泥にまみれ、血の匂いを放つイウエイン卿の亡骸が目の前に横たわっている。このクーナハトの騎士を殺したのが人間ではないことは、ひと目でわかった。鎧は、脱がすことができないほど大きく凹んでいる。左腕は恐るべき力で引きちぎられていた。大兜はべしゃんこで、中身がどうなっているのかを考えるだけでぞっとする。

やがてイウエイン卿の手に、輝く奇妙な護符が握られていることに気づき、詳しく調べることにした。

実績〈遠征隊の運命〉の断片6、実績〈略奪者〉の断片2、秘密22番〈輝ける護符〉獲得。各人2  経験獲得。  1以上の各人1  獲得。

○  1以上:301節へ進む。

○さもなくば:探索終了。

337

意識のなかで、いくつもの場面が渦巻く。そのうちのひとつに集中するには、強い意志が必要だ。

- 勇士たちがトゥアハンに侵入する場面【パーティで「2 魔力 & 1 緑」を人数倍数だけ消費】：457節へ進む。
- オベールがこめかみに手を押しつけながら地面に倒れる場面【パーティで2 緑を人数倍数だけ消費】：440節へ進む。
- 勇士たちがあやかしに囲まれた奇妙な城塞に入る場面【パーティで「1 魔力 & 1 緑」を人数倍数だけ消費】：451節へ進む。
- 他のことを考える：163節へ戻る。

338

756 節へ進む。

340

「あいつは詐欺師だ」と君は告げた。「あの言語を知っているわけでもなく、地図も偽物で、ただコスールの金だけが目当てだ」コスールは感謝し、もっとまともな翻訳者を、一緒に探す流れになった。帰り際、守護者の谷の話の話を聞かされた。

各人1 名声獲得。実績〈コスール〉の断片3獲得。探索終了。

341

ふたりのことは、心の中に留めて置くことにした。この状況なら、感染者がふたり増えた以外、何も変わりはない……はずだ。

各人1 経験 & 同数 獲得。
探索終了。

342

流血した女性は地に倒れ伏して動かない。可能な限り手をつくした。幸いにも傷はそこまでひどくはなかった。しばらくして意識を取り戻し、恐怖の目で辺りを見渡したが、こちらに気づくと安堵のため息をついた。

「私はコスール。最近、旅を始めたばかりなのです」その旅の理由もまた、興味深いものであった。コスールの一族は、蜘蛛の巣のような文字と印象的な絵で埋め尽くされた、古い記録を所有していた。先住者やあやかしと戦った、英雄的な先祖の話と共に、代々受け継がれてきた。ところが一族の誰も、この文字を読むことができない。それを受け継いだコスールは、その謎を解き明かそうと決意したのだと言う。すなわち現在、この文字を翻訳できる学者を探していて、どうやら館の長城にそのような人物がいるのだという。

- やめるよう説得する：戦いかたは見せてもらったが、あやグマ程度から身を守れなければ、いずれ死んでしまうだろう。334節へ進む。
- 野外で生き残る術を教える：優れた戦士ではないが、大望を抱いている。1 除去。実績〈コスール〉の断片1獲得。探索終了。

343

下図の緑遭遇〈太古の地竜〉を解決：

秘密 27 番があるキャラクターは、この遭遇中に戦闘カードを1枚プレイするたび、1 。

戦闘開始時、パーティで「10 名声 & 5 財貨」を人数倍数ぶん消費したら、この戦闘中の敵の反撃は 1 軽減。

太古の地竜

40

緩慢

プレイする戦闘カードによって、戦闘プールに追加される共通マーカーの数 1 軽減。

0-12	》	5	、1 獲得、
13-21	》	3	、除去
22-25	》	2	
26-34	》	4	、2 獲得
35-39	》	5	

臨機：5

報酬：続けてこの節を読む
失敗：探索終了

- 敗北もしくは離脱：探索終了。
- 勝利：続けて朗読すること：

古代の円形砦という静かな闘技場でおこなわれた君と怪物の死闘は、歌に詠われるべき激しさだった。いまその敵は、むくろとなって倒れている。これでまたはじまりの農砦は、苦難の時代に人々を保護する場所となったのだ。誰かをここに呼ばなくては。歓迎されざる訪問者が再び入りこむ前に、いやこの巨大な屍が腐り始める前に……。

4 食料実績 & 〈最後の安息地〉の断片2獲得。各人2 経験獲得。探索終了。

446

袋は、腐った魚と水草の臭いのするドロドロの液体で満たされていた。濡れて判読が難しい走り書きの紙片が浮いていた。

「追っ手は容赦なかった。昼夜問わず追いかけてくる。誰かひとりでもカマアロにたどり着けるよう、分散することにした。君がこれを読んでいるということは、おれには運がなかったということだ。漂白の地の外れにある狩猟小屋に行って、妻に事情を話してくれ。二度と帰ってこない男を、永遠に待ち続けてほしくはない。君がおれよりも幸運であることを願って。」

—— フェール」

新任務：フェールの最後の言葉を、漂白の地にいる彼の妻に届ける。

実績〈フェールの遺産〉獲得。

- **あなたがアレグで、実績〈最後の教え〉の断片 2 がない：場所 114 番〈捻じれ根の森〉13 節へ戻る。**
- **さもなくば：探索終了。**

451

勇士四人の部隊が、天空よりさかさまにぶら下がる、奇妙な城塞に侵入する。まるで侵入経路を熟知しているかのように、一気に玉座の間に到達する。そこで何か——輝く杯を見出す。ニントがそれを素早く隠し持った。するとイウェインが、何かを指差して叫んだ。エルフルがフェールとニントを押し出すと、みな逃げ出した。玉座の背後から追跡者が現れる。それを追おうとすると、視界が歪んだ。

各人1 獲得。実績〈遠征隊の運命〉の断片5獲得。337 節へ戻る。

455

秘密 18 番獲得。このカードには実は「おとり」の配置ルールが説明されている。秘密 65 番を箱にしまう。

重要：〈先住者〉コマの移動の際、次のルールを適用すること：

朝、先住者のコマを、おとりのある場所に近づくよう1回移動。その後、全おとりを除去（先住者がおとりのある場所に着いたかどうかにかかわらず）。

- **おとりがない：**先住者のコマを、至近のキャラクターに近づくよう1回移動。
- **複数のルートがあるか、同距離に別のキャラクターがある：**より場所番号が小さいほうへ移動。
- **いずれかのキャラクターが先住者コマと同じ場所にいる：**13 節に進み、ルールを確認すること。

探索終了。

456

手を棘に押しつけた。それは暖かく、君を待ちかまえていた。拳を握りしめると、痛みで気が遠くなる。この剣は、血をすすっているわけではなかった。むしろ刺し傷を通して、燃えるような液体を自分に送りこんでくれる感じだった。その炎は、静脈から全身に燃え広がり、大いなる痛みとなった。

いざ石から剣を引き抜こうとしたとき、新たな痛みが襲ってくる。最初、引き抜くことなど不可能ごとと思えた。しかしゆっくりとだが、剣は緩みはじめる。モルゲインは驚きから覚め、ガヘリスに攻撃するよう命じた。熱意に駆られ、ガヘリスは大きな図体を迅速に動かした。警戒心から顔を上げた。アーサーも同様だった。ガヘリスは武器を引き抜いた。選択肢はひとつしかないようだ。いざ、戦闘だ！

480 節の白遭遇〈ガヘリス〉を解決：

457

ニントが王の館の衛兵に話しかける。その背後には、イウェインとフェールが隠れている。衛兵を打ち倒し、館内へと侵入する。そしてトゥアハンの変化する情景に混乱し、恐怖しながら、あやかしの壁の反対側に出現する。

各人1 獲得。実績〈遠征隊の運命〉の断片3獲得。337 節へ戻る。

460

コスールは君の有能さに気づいた。これまで二度も助け、今度はあやかしを追い払えることも証明したからだ。感銘したコスールは、喜んで合流した。

秘密 37 番〈不休のコスール〉獲得。探索終了。

462

を任意の数だけ消費（0でも可）。その値を次表で参照：

0～2：何かを作ろうとしたが、血が足りなかった。クエスト・トークン1個獲得。探索終了。

3～5：自分の血を使い、美しいルビーを作り上げた。6**財貨** & クエスト・トークン1個獲得。各人1 獲得。探索終了。

6以上：何か特別なものを鍛造した！クエスト・トークン1個獲得。次からいずれか1つを獲得。秘密 39 番〈這いよる指輪〉、秘密 44 番〈先住者の珠〉、支援〈魔剣〉、支援〈名匠の鎧〉、8**財貨**。各人1 & 1**経験**獲得。探索終了。

463

何時間もかけて、ここの煉瓦や植物、土壌を調べる。それらをあやかしや君自身の魔力に曝してもみた。その結果、赤シダはあやかしに近付けるとすぐに枯れてしまうことが判った。島の別の場所でも、この植物の群生を見たことがある。この知識があれば、あやかしの影響が及ばない範囲を調べることができるだろう。

秘密 47 番〈赤シダの効能〉がない：それを獲得。各人2**経験**獲得。

注意：この秘密は全キャラクターに影響を与える。

探索終了。

466

落ちていった。だが、ゆっくりと落ちているようだ。すぐに暗闇しか見えなくなる。湿った冷たい触手が肌をなでる。嫌悪で体を丸めるが、そいつを止められない。と、強烈な光が闇を切り裂いた。なんと、いつの間にか誰もいない広場の中央に立っていたのだ。

クエスト・トークン1個獲得。各人3 獲得、かつ2 & 2 除去。探索終了。

525

「探していましたよ」男は息も絶え絶えのようすで近づいてきた。「これを届けに来ました」

伝令は、封蝋に鎌の押印がある封書を差し出してくる。封を切り、手紙を読んだ。「革命評議会は、貴殿を緊急招集する。カマアロの難民居留地に急ぎ参らねば」

実績〈騎士道の終焉〉の断片8獲得。

新任務:場所 138 番〈感染した都邑〉もしくは場所 142 番〈静まりかえった都邑〉に戻り、この章の物語を終わらせるため、評議会の会合に出席する。

ゲーム続行!

526

どうやらちょうど最後の儀式を執りおこなう直前だったようだ。君はそれが終わるまで待つことにした。アマーギンは選りすぐりのドルイドたちを引き連れ、戦場へと向かった。儀式そのものは驚くほど素早く終わった。

数多の腐乱死体が震えだし、立ちあがった。ドルイドたちの顔には一瞬笑みが浮かんだが、すぐさま恐怖へと変化した。死体は血の海へと倒れ伏し、肉から抜け出した荒ぶる霊として襲いかかってくる。脳障害のある大ドルイドに、死者復活の儀式を任せるのは、どうやら間違いだったようだ。

各人3  & 2  経験獲得、かつ2  除去。難易度4の紫遭遇〈スルア〉を解決。遭遇開始時、戦闘プールにマーカー4個追加。探索終了。

530

あとになって、何が起こったのかを漠然と思い出した。人間界の青い空はすぐそこだったのに、力がみるみるうちに弱まっていった。そして最後には気を失った。

小さな診療所の、低い寝台の上で目覚めた。治療用のハーブと香の匂いで、半ば窒息しかけた。どこかで見たことがあるひげ面が、こちらを覗き込んでいる。会ったことがある人物だろうか?あるいはトゥアハンに長く居すぎたせいで、記憶が混乱しているのか?

「寝すぎじゃな。分かるとるじゃろうが。指揮官はワシのウデを疑い始めたわ」

オーリンだった。アヴァロンでマーリンの最後の弟子だった男だ。うなずいてみせた。弱すぎていて、言葉が出なかったからだ。オーリンは続けた。

「お前は、守護者の谷の入口で見つかったのじゃ。半死半生でな。警備隊は、お前が新種のあやかしかとて、とどめを刺したがっていった。幸いにも指揮官は頭が回るやつでな。お前がトゥアハンに赴いたときから、いろんなことが起きたのじゃよ。だがそれについては、後で話をしよう。今は休んで、体力を取りもどすじゃな」

各キャラクターは支援を2枚まで選んで手元に残し、残りを除去(間違っ秘密まで除去しないように!)。実績〈あやかしの風〉を獲得し、秘密 67 番〈妨げられた休息〉を除去。各人全  & 4  獲得、4  除去。

ここで、新たにマップを組み直す:

1. 〈〈トゥアハンの中心〉を含む〉全トゥアハンの場所を除去。
 2. 場所 151 番〈長塚〉をテーブル中央に置き、全キャラクターを配置。
 3. 場所 150 番〈守護者の谷〉&場所 132 番〈月女神のかんばせ〉を〈長塚〉に隣接させて結合。
 4. 〈月女神のかんばせ〉にメンヒルを配置し、その値を「8 - キャラクター数」にする。
- 7節へ進む。

531

隠し通路は、長く曲がりくねっている。穴だらけの妖石でできた生暖かい通路は、進むにつれどんどん狭くなる。このままこの蒸し暑い空間に閉じこめられ、来ることのない助けを求めて、喉が張り裂けるほど叫ぶ自分の姿を想像し、動悸が加速する。それでもしばらくすると、先に何か見えてきた。

 2以下の各人1  獲得。605 節へ進む。

533

儀式の最終工程に取りかかる前に、オーリンは最後に伝えたいことがあると言った。

「お前はこれから自分だけ判断しなくてはならない。アヴァロンにおいて誰も手にしていない力を持ったままな。ワシはお前を導くことができない。だから頼む、今までのすべての出来事のために、この力を正しきことに使うと誓ってくれ」

そこで大きく息を吐き出し、先を続ける。「お前の集落の人々はカマアロを信じた。カマアロはアーサーと聖杯を信じた。だがその信頼もすべては無駄になった。ワシらは古い王や忘れられた遺物に……そう、過去に救いを求めてはならない。希望は未来にしか存在しない。そしてそれは、この島のどこかに秘密とともに隠れておる。時間や与えられたものを賢く利用するのだ。さすればアヴァロンの崩壊といえど、ワシらの終焉にはなりえないだろう」

オーリンは君を優しく抱きしめたあと、削りあげたメンヒルにもたれかかった。短刀が振るわれる。血が老人から流れ出し、妖石に吸いこまれていった。やがて君の前には、わずかに灯る不気味なメンヒルだけが残った。

各人1  & 2  経験獲得。秘密 14 番を箱にしまい、秘密 15 番獲得。

おめでとう! この章は完了となります! 進行中のクエストを含む、すべての物語カードを捨て札にしてください。ここでゲームを記録し、いったん中断するか、第 11 章のセットアップ・カードを引いてその指示にしたがい、ゲームを再開してください!

541

609 節の白遭遇〈アーサー王〉を解決:

610

▶秘密7番がない:612節へ進む。

▶さもなくば続けて朗読すること:

ひとつだけ問題があった。手のなかにある暖かな黄金の聖杯だ。これをどうすればよいだろう?

- 蒼き貴婦人の求めに応じて、ここに置いて去る:この城塞を去る前に、玉座の上にあるくぼみに聖杯を配置する。秘密7番〈真の聖杯〉を除去し。612節へ進む。
- 聖杯を持ったまま進み続ける:612節へ進む。

611

自分のできることをした。上から下まで、島を調べたのだ。さて、新たに得た情報を活用する時間だ。

おめでとう! この章は完了となります! 進行中のクエストを含む、すべての物語カードを捨て札にしてください。ここでゲームを記録し、いったん中断するか、第14章のセットアップ・カードを引いてその指示にしたがい、ゲームを再開してください!

612

トゥアハンを去り、自分の世界に戻る頃合いだ。だがそれも、たやすい旅路ではなからう。

場所185番〈トゥアハンの中心〉を除去。〈トゥアハン〉場所カード全5枚を取ってまとめてシャッフルしてトゥアハンの山を作り直し、そのうち1枚を場の中央に置き、そこに全キャラクターを配置。

- 秘密7番があるか、78番がない:トゥアハンにいるあいだ、周囲でなにか蠢いているのを感じていた。実績〈奪還〉&秘密4番獲得。

おめでとう! この章は完了となります! 進行中のクエストを含む、すべての物語カードを捨て札にしてください。ここでゲームを記録し、いったん中断するか、第9章のセットアップ・カードを引いてその指示にしたがい、ゲームを再開してください!

622

もう十分だと思いますか? 世界が崩れ落ちる今、どこまでやれば十分だと思いますか? あなたは期待された以上によく働きました。それでも、頭の中に囁く声、まだ助けられる人が残っているんだと思いださせる声を黙らせるのは難しいでしょう。このキャンペーンの最終章に進みますか?

- はい:623節へ進む。
- いいえ:ゲーム続行!

623

おめでとう! この章は完了となります! 進行中のクエストを含む、すべての物語カードを捨て札にしてください。ここでゲームを記録し、いったん中断するか、第15章のセットアップ・カードを引いてその指示にしたがい、ゲームを再開してください!

625

彼のかすかな笑いだけが答なのかと思ったが、王は話し出した。

「そなたは、かつての余と同じだ。謎が、答えねばならぬ究極の問いが、遂げねばならぬクエストが存在すると思ひこんでいる。だがその謎の答が、質問そのもののだとしたらどうなる? さて旅人よ、質問は?」

- 本当のアーサーなのかどうか?:234節へ進む。
- トゥアハンの中心で何をしていたのか?:338節へ進む。
- なぜここにいるのか?:479節へ進む。
- この地が何なのか?:513節へ進む。
- ここからの帰りかた:523節へ進む。
- 蒼き貴婦人との関係について:766節へ進む。

630

大釜のなかには男性の死体があった。肌は風化し、黒くひび割れた傷跡があり、乾いた血がこびりついている。残念なことに、大釜には複数の小さな穴と傷がある。羊歯の海の男が、修理の際に使った黄金の詰め物が、すべて盗まれている。

- 自分の貴重品を溶かして大釜を修復[10財貨&1消費]:実績〈黒き大釜〉の断片3獲得。もう一度この節で分岐を選択:
- 大釜を使用[実績〈黒き大釜〉の断片3がある]:733節へ進む。
- 立ち去る:探索終了。

643

ウルタン麾下の戦士たちは城を破壊し、貯蔵庫を略奪し、広大な空の部屋に火を放った。いにしえよりの建造物に火の手が回っていくのを見つめながら「これがひとつの時代の終わりなのだろうか?」と感慨にふける。次の時代には、何が現れるのだろうか?

実績〈最終決戦〉の断片3&〈残されて〉の断片7獲得。次から1つ選択:

- 略奪!:ダイスを振り、出目にを加算。達成値だけ財貨獲得。316節へ進む。
- 奥の部屋に押し入る:普段は施錠されているうえに衛兵もついているモルゲインの部屋に、この混乱に紛れて簡単に入ることができる。521節へ進む。

651

君は「死者の軍勢を蘇らせて、自分の思いを遂げるまで長生きしたなんていう話、聞いたことがない」と言い放った。そして「それにドルイドの本分は、すべての生命の再生のために死をもたらすことであって、輪廻転生の過程を永遠に停止させるのは本筋から外れている」と続けた。アマーギンは呆けたような顔をした後で、ゆっくりとうなずいた。「そんなふうに考えたことはなかったな」と認め、儀式をやめることを約束してくれた。

実績〈谷間の儀式〉の断片2獲得。各人1経験&1名声獲得。探索終了。